

59 ガソリンスタンド等での事故防止のポイント

埼玉県内で発生した危険物事故の多くは、ガソリンスタンドのような給油取扱所で起きています。過去3年（令和3年から令和5年）の危険物事故状況から、給油取扱所での事故防止のために注意が必要なポイントを探りましょう。

1 ガソリンスタンド等の給油取扱所での事故発生件数（件）

施設の種類	令和5年	令和4年	令和3年
給油取扱所	46	52	33
それ以外の施設	18	12	13
合計	64	64	46

2 事故の種別と原因

事故の種別で最も多いのが施設の破損で、過去3年で106件起きています。そのうち、車両の運転操作ミスによる接触が87件と、原因の8割以上を占めています。その他に、給油ノズルの外し忘れによる事故も9件起きています。構内で焦らずに安全に運転してもらうため、落ち着いた誘導や安全運転の周知が肝心です。

次に多いのが火災で、過去3年で13件起きています。その中でも、静電気を原因とする火災が毎年発生しています（令和5年1件、令和4年3件、令和3年1件）。キャップを触る前には毎回静電気除去シートを触るなど、こまめな利用を呼び掛けることが必要です。

その他の事故として、ガソリンの流出やコンタミ（ガソリン、灯油、水などが混ざってしまうこと）が起きています。

3 破損事故の発生位置

施設の破損が起きた位置で最も多いのは固定給油施設の66件で、次にキャノピーの17件、ガードポールの6件と続きます。このうちキャノピーの破損事故は、大型車における積載物や、給油のため操作したまま戻さなかった荷台が接触することによって起きています。大型車がガソリンスタンドを利用する際は、積載物や荷台の動きにもよく注意を払って監視することが重要です。